

公立大学法人青森県立保健大学 令和6年度新たな重点的取組

法人の基本的な目標(使命)

- 1 人間性豊かな人材の育成
- 2 保健、医療及び福祉の発展に寄与できる人材の育成
- 3 地域特性へ対応できる人材の育成
- 4 グローバルな視野をもって活躍できる人材の育成
- 5 地域社会への貢献

- 新設される健康科学総合教育部門の円滑な運営
- 令和7年度からの新カリキュラム開始に向けた最終準備
- 大学院教育・研究における質保証の更なる向上
- 修学支援及び奨学金業務クラウド型管理システムの導入

教育

研究

地域貢献

- 地域の看護を担う高度人材の育成とCNSコースの新設の準備
- 研究データ管理体制構築に向けたシステム導入、及び学内関係機関との情報共有

- 学生の地域定着推進事業
- へき地で働く保健師のキャリアアップ推進事業
- 地域貢献に参加しやすい環境づくりによるボランティア活動の推進

- 第三期中期目標期間終了時見込業務実績の適正な評価
- 広報戦略に基づいた広報機能の強化
- 財務運営の健全性の確保と教育研究基盤の整備の促進

自己点検・評価及び業務・財務

公立大学法人青森県立保健大学 令和6年度新たな重点的取組

取組概要

期待される効果、今後の展望

【学部教育】新設される健康科学総合教育部門の円滑な運営

- 令和6年度より新たな教員組織として、健康科学総合教育部門を新設する。
- この部門は本学の教養教育、英語教育、及び学部共通教育の講義を担当するとともに、学部専門教育や大学院教育との連携・調節を担う。

- 教養教育の一層の充実が図ることができる。
- 教養教育及び語学教育と学部専門教育及び大学院教育との連携が強化される。

【学部教育】令和7年度からの新カリキュラム開始に向けた最終準備

- 学部教育においては、令和7年度から新カリキュラムを開始する予定である。
- 令和5年度中から着手しているカリキュラム検討を継続し、令和7年度開始に向けて最終整備を行う。

- 時代の変化と地域の要請に対応した新カリキュラムが制定される。
- 新カリキュラム制定に合わせ、学部だけではなく大学院における既存のポリシーの見直し、整備が行われる。

【大学院教育】大学院における教育・研究の質保証の強化

- 教育・研究の質の保証を強化するために、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に基づく、学修到達度の目標や到達度の基準・評価方法等を明確にする。
- 教員が研究指導を担当する大学院生の学修や研究状況を把握し、助言等をできるように明文化した「研究指導計画書（授業・研究指導ポートフォリオ）」の活用を推進する。

- 大学院生が何を達成すべきか理解しやすくなり、異なる評価者（教員）が同じ基準で大学院生を評価するので、より公平で客観的な評価を通じて、学位プログラムの質が向上する。
- 教員は大学院生に教育・研究の目標や方針を具体的に示し、大学院生は自身の研究活動や学修等の進捗を確認することができ、相互の理解やコミュニケーションを深めることができる。

取組概要

期待される効果、今後の展望

【学生支援】修学支援及び奨学金業務クラウド型管理システムの導入

- 授業料免除制度・奨学金制度に関する学生への適切かつ確実な周知・連絡と対象学生の利便性向上を目的に、クラウド型管理システムを導入し活用する。



- 対象学生にとって申請手続き等に関する必要書類や提出期限等の確認漏れが解消されるため、修学支援の利便性が向上する。

【大学院教育】地域の看護を担う高度人材の育成とCNSコースの新設の準備

- 看護（老人看護及び感染症看護）に関する専門看護師を養成するために、新しいCNSコースの令和8年度の開設に向け、開設に係る情報収集、方針等の検討並びに必要な申請書類等の準備を行う。



- 「**老人看護専門看護師**」の開設：①本県などの地域の高齢社会に適した看護ケアを提供し、高齢者のQOL等の質向上に貢献できる。②地域の医療機関や高齢者施設と本学との連携が強化され、地域全体で高齢者の医療福祉サービスの質向上に寄与する。
- 「**感染症看護専門看護師**」の開設：①パンデミック等での感染制御のスキル等を持ち、地域の防疫体制の一翼を担うことが期待される。②地域における感染症の早期発見やその後の適切な看護ケアの提供等に貢献する。

公立大学法人青森県立保健大学 令和6年度新たな重点的取組

取組概要

期待される効果、今後の展望

【附属図書館】研究データ管理体制構築に向けたシステム導入、及び学内関係機関との情報共有

- 令和7年度までに大学としてデータポリシーの策定をするために、研究データ管理システムを導入し、さらに研究科やヘルスプロモーション戦略研究センター等の学内機関との連携を強化し、情報を共有する。

※令和7年までにデータポリシーを策定し、機関リポジトリへ研究データの収載を進めることになっている（文部科学省）。

オープンサイエンスの実現には、研究中のデータを研究者間で共有・活用することが必要であり、そのために研究データ管理システム[GakuNin RDM]により研究データ管理機能を確保する。

- 学内機関が研究データ管理・保存について理解を深めることに繋がり、データポリシー策定の素地を作ることができると期待される。

【キャリア形成支援】学生の地域定着推進事業

- 地域定着枠の1期生の卒業に向け、それぞれが目指す看護職像に適したキャリアサポートプログラムを有する中核病院等に採用されるよう、就職試験対策の支援をするとともに、卒業後、安心してローテート勤務できる環境を中核病院等とともに整備する。

また、青森県内の保健・医療・福祉分野で活躍している本学卒業生・修了生を講師に招き、学部1～2年生を対象に、青森県内で働くことの魅力ややりがい等について講演してもらう機会を設ける。

- 地域定着枠の学生について、これからの地域に求められる、地域包括ケアの推進に必要な連携能力等を有する看護職の育成と配置が可能となり、青森県の地域医療に貢献することが期待される。

また、青森県内で活躍する本学卒業生・修了生から、青森県内で働くことの魅力ややりがい等についての講演を聞くことで、青森県内で就職することも選択肢の一つとして考えるきっかけとなり得る。

取組概要

期待される効果、今後の展望

【キャリア形成支援】へき地で働く保健師のキャリアアップ推進事業

- 本学保健師コースの県内就職促進及び県内のへき地などで働く保健師等のキャリアアップに向けた支援の在り方を検討するために以下の聞き取り調査を行う。
 - ①本学保健師コースの学生
就職先決定要因や就職先に希望すること等
 - ②県内の自治体等に勤務する本学出身の保健師
専門職としてのスキルアップに係る実態、課題、今後のキャリアアップのイメージ等



- 県内就職促進に加え、本学保健師コースの学生が、保健師として青森県内のへき地等の自治体等に就職しても、専門職としてのスキルアップ、キャリアアップを図ることができる。

【地域貢献】地域貢献に参加しやすい環境づくりによるボランティア活動の推進

- 本学のボランティア登録制度を活用し、ボランティア活動を依頼する自治体等やボランティア活動への参加を希望する学生や教職員に対して、大学ホームページ等を介して、情報提供を行うほか、ボランティア活動に関する研修等を企画・開催する。



- ボランティアに関する情報をタイムリーに提供することができるようになるとともに、登録者に対して、必要な研修を実施することで、ボランティア活動が活発化することが期待できる。

公立大学法人青森県立保健大学 令和6年度新たな重点的取組

取組概要

期待される効果、今後の展望

【評価改善】第三期中期目標期間終了時見込業務実績の適正な評価

- 第三期中期目標期間（令和2年度～7年度）のうち4年分の実績について、終了時見込実績業務実績報告書にまとめる。
- これまでの実績をチェックし、今後さらなる取組が必要な事業等について抽出し、年度計画に反映させる。
- 第四期中期目標立案に向けて、これらの内容を教職員で共有の上、広範な議論を行う。

- 年度を超えた実績の確認により、目標達成に必要な事業が抽出でき、最終的な実績目標の達成につながる。
- 第四期中期計画立案のための基盤となる。

【広報】広報戦略に基づいた広報機能の強化

- 外部コンサルテーション、学生、教職員の協議結果を反映させたホームページのリニューアルを行う。
- 広報の柱になりつつあるSNSをさらに活用する。
- 広報重点テーマを設定し、研究活動等が伝わる広報を行う。

- SNSと連動し、本学からの新たな発信を見つけやすいホームページにリニューアルすることで、伝えたい情報へのアクセシビリティを高めることができる。
- 学部の教育活動だけではなく、教員個人の研究活動や大学院での教育、社会貢献活動についてもわかりやすく社会全体に届けることができる。

【総務・財務】財務運営の健全性の確保と教育研究基盤の整備の促進

- 人件費、物件費等の経常的な経費の必要額及び執行状況を随時把握し、予算の有効活用を図る。
- 積立金を財源とする施設・設備、機器・備品等の整備については、必要性や費用対効果を十分吟味し、中長期的な視点も踏まえて検討、実施する。

- 財務運営の健全性を保ちつつ、施設・設備、機器・備品等の教育研究基盤の充実につながる。